

きょく とう 旭東地区



◇事業種：国営緊急農地再編整備事業
 ◇関係市町：北海道 旭川市、上川郡東神楽町
 JA：JAひがしかぐら、JAあさひかわ
 土地改良区：旭川土地改良区

◇事業工期：令和元年度～
 ◇受益面積：1,963ha
 ◇主要工事：区画整理(田) 1,913ha
 区画整理(畑) 50ha
 ◇受益戸数：310戸
 ◇主要作物：水稻、小麦、アスパラガス、ピーマン、
 ほうれんそう、小ねぎ 他

【地域の特産農産物】



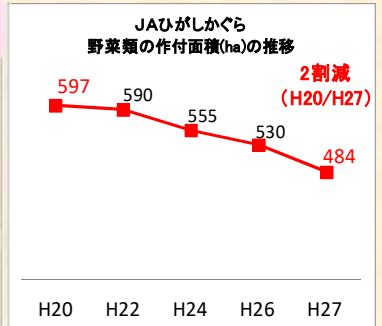
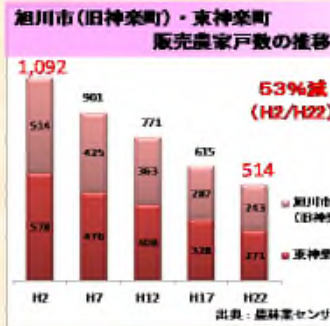
地区概要

本地区は、上川盆地の南東部に位置する大雪山連峰の麓に広がる忠別川及び美瑛川に挟まれた北海道でも有数の米どころとして発展してきた水田農業地帯。

地域農業は、稲作を中心として小麦、スイートコーン、アスパラガス、小ねぎなどを栽培。特にアスパラガスは安定的な収入確保のため農家⇄農協⇄企業の連携による「冷凍カット野菜」の取り組みを展開。小麦は平成24年から地産地消やブランド化を目指しパン・中華めん用「キタノカオリ」に全面転換し、JAひがしかぐらが中心となり『小麦薫るラーメン』などの製品化と販売を展開。小ねぎなどの生鮮野菜も、全国展開している外食チェーンなどへ流通するなど販売を拡大中。

しかし、地域では高齢化や後継者不足により農家戸数は過去20年間で53%減少。本地区においては、今後更なる離農が予測され、労働力を必要とする野菜類の作付面積の減少に繋がっている。

生産基盤であるほ場は、昭和40年代に1次整備を実施してから50年が経過し、30a区画ほ場が大部分を占め、排水不良等の条件下では効率的な農作業が行えない状況。このようなほ場では農地の流動化が停滞することで更なる経営耕地の分散化や耕作放棄地となるおそれがある。



小区画ほ場



排水不良ほ場



耕作放棄地が発生



旭川市 ゆるキャラ「あさっぴー」



次世代に優良農地を引継ぐぞ！

【現在】

【将来】

儲かる農業と魅力ある地域を目指します！

東神楽町 ゆるキャラ「かぐらっきー」

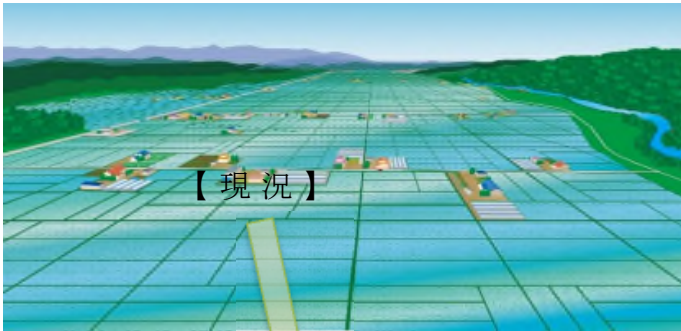


このため、次世代の農業者が希望を持って農業経営を展開できるように、国営事業による大区画ほ場等の基盤整備と担い手への農地集積・集団化が急務である。

持続的で安定した野菜生産体制の構築による 産地収益力の向上

野菜生産団地の形成による高生産性農業を展開

労働力の確保、低コスト化、栽培技術の向上・伝承、生産ロットの確保に向けて、各地域で野菜生産拠点を形成し、野菜生産拡大による農業所得の向上（儲かる農業）を目指す。



- ① 畑の集約化
 - ② 労働力の確保・斡旋
(農業請負組織の機能増強)
 - ③ 共同選果の機能増強
 - ④ 担い手育成・支援 等
- 生産拡大をサポート**

**水田における作業を効率化
(農作業請負組織)**

【整備後】

野菜の作付面積

現況	58
計画	210

《野菜生産拠点の機能》

- ・野菜作の集約化
- ・共同作業体系の確立
- ・労働力の適正配置
- ・収穫出荷調整
- ・栽培技術の普及・伝承

高生産性農業の実現 (収益性の高い野菜の生産)

▶

産地収益力の向上 (地域の活力アップ)

- ・ 消費者へ「安心・安全」な国産農産物を将来にわたり継続的に提供
- ・ 地域の農業生産額増大
約7億円増 (地区：現況→計画)
- ・ 農家所得の向上
→ 安定した営農の継続



農業を核とした地域活性化 安定した農業・世代が継承される地域の創造